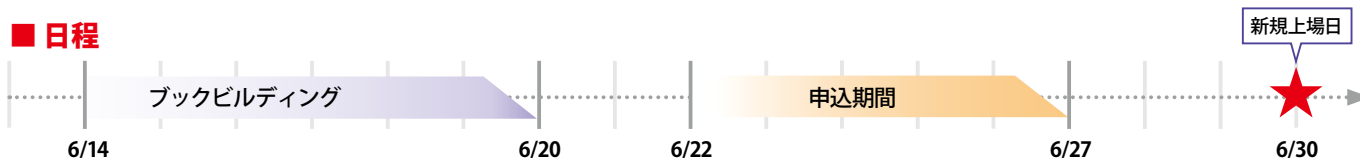


# IPO銘柄 SYSホールディングス (3988・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3988	100株	公募: 20.00万株 売出: 10.00万株 (OA4.50万株)	2,360円~2,560円 (17.1倍)	東海東京証券



## ITシステム開発とITソリューションサービスを提供

### ■ 事業内容

ITシステム開発とITソリューションサービスの提供を中核とする総合情報サービス事業を手掛ける。グローバル製造業ソリューション、社会情報インフラソリューション、モバイルソリューションに大別され、グローバル製造業ソリューションでは自動車、重工業、工作機械、鉄鋼、搬送機などのメーカーが対象。社会情報インフラソリューションは、電力、ガスなどのエネルギー、生命保険、クレジットカード、リース、証券などの金融、印刷帳票、鉄道、不動産関連企業や官公庁・自治体などが主要顧客。モバイルソリューションでは法人向けモバイル・アプリケーションなどによるサービスを提供し、主要顧客は流通、訪問介護、鉄道、医療、ロードサービスなどの関連企業となっている。総合情報サービス事業の単一業態。

### ■ 特徴

IT人材の創出・育成から、提案・コンサルティング、情報インフラ構築、情報システムの開発・保守・運用、関連製品販売など、一連の事業を一貫して手掛ける。IT人材の創出・育成では、未経験者、女性の採用に注力。女性に関しては採用比率40%を目標としている。加えて、海外での採用も実施しており、中国、韓国、インドネシア、バングラデシュ、ネパールなどでの採用実績がある。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年7月期の連結経常利益は前期比9.8%増の1億9,100万円を計画する。足元は自動車関連の電子制御ユニット分野や鉄鋼、工作機械系の顧客からの受注が増加。社会情報インフラソリューション、モバイルソリューションも堅調な推移となっている。

### ■ 定性分析

ITシステム開発はIPOマーケットでそれなりに人気のあるカテゴリで、ビッグデータやクラウド、AR/VRなど、相場の物色テーマになっている分野でも実績を持っている。ただ、同日上場の2社に比べてテーマ性、成長イメージはやや劣っている感がある。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は、9億円弱。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給状況は良好。同日上場する3案件の中では最も吸収金額が少ないものの、初値買い資金分散の影響をそれなりに受けてしまいそうだ。

(小泉健太)

### ■ 類似企業

SYSホールディングス (3988・JASDAQ)	予想PER17.1倍 (仮条件上限)
ULSグループ (3798・JASDAQ)	予想PER22.7倍
豆蔵ホールディングス (3756・東証1部)	予想PER13.3倍

### ■ 引受証券

東海東京証券、野村証券、SMBC日興証券、安藤証券、エース証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年7月期(実績)	3,704	—	62	—	37	—	35.9	1.50
16年7月期(実績)	3,755	1.4	173	2.8倍	144	3.9倍	138.6	1.50
17年7月期(会社予想)	3,896	3.8	191	9.8	158	9.7	149.4	20.00

※ 17年3月に株式分割(1株→200株)を実施。15年7月期および16年7月期のEPSと配当金は遡及修正15年7月期より連結財務諸表を作成しているため15年7月期の前期との比較はなし

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年7月期	5,205	1,977	707	70	670.7	35.3	5.5
16年7月期	5,205	1,893	854	70	814.7	44.8	18.7

※ 15年7月期および16年7月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	鈴木 裕紀	643,000	61.76
2	安田 鉄也	180,000	17.29
3	二宮 由美	101,000	9.70
4	SYSHDグループ従業員持株会	73,800	7.08
5	三井住友銀行	10,000	0.96
5	百五銀行	10,000	0.96
5	瀬戸信用金庫	10,000	0.96
8	一柳 泰行	4,200	0.40
9	後藤 大祐	3,000	0.28
9	伊藤 政光	3,000	0.28
9	山下 真樹雄	3,000	0.28

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長兼社長	鈴木 裕紀
常務取締役(管理本部長)	後藤 大祐
取締役	安田 鉄也
取締役	長尾 和美
取締役	服部 大騎
取締役	藤井 敏夫
常勤監査役	野村 知良
監査役	森戸 尉之
監査役	深井 貴伸

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。